

事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	グローバル化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	国際交流課				
		実施期間	不明 ～	E-mail	kokusai @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・人口減少下においては、国内市場の縮小や人手不足など諸課題の解決に向けて、世界の活力や知見を積極的に取り込み、経済や社会のグローバル化を進める必要がある。
・そのためにも、友好提携都市等との連携・協力による青少年の相互派遣交流や次代の国際交流を担う人材育成などを通じて世界とのネットワークを強化するとともに、世界を広く見る視点をもつ人材を養う必要がある。

2 事業目的

・海外の活力や知見を取り入れるために、海外との交流を拡充するとともに、友好提携都市や県人会との相互理解を深めるための交流機会を充実し、海外ネットワークの強化を図る。
--

3 事業目的を達成するための取組

①国際関係パートナーシップの強化	
・外国人材の受入れや友好提携都市等との交流拡大に資する海外とのネットワークを強化	
・国内外のJET経験者とのネットワークを強化	
・魅力や活力に満ちた長野県のポテンシャルをアピールする情報発信ツールを作成	
・友好提携都市との青少年等の相互派遣交流を実施	
②次代の国際交流を担う人材の育成など県民の国際感覚の醸成	
・外国の文化講座や海外への現地研修を実施し、大学生国際交流リーダーを育成	
・国際交流員を小中学校や地域の講座等へ派遣	
・国際交流員による自主企画イベントの開催、SNSでの情報発信	
③海外県人会との交流	
・海外県人会から次世代を担う若手会員を研修員として受入れ、海外との人的ネットワークを強化	
・ブラジル及びアルゼンチンの海外県人会の運営や各種事業に対し、補助金を交付	

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
②-1	大学生国際交流リーダーの参加人数	人	30	43	↗	44	↗	32	達成 事業の活性化及び多様性を測るための指標として設定。 過去3年間（R4～R6）の平均値から同程度を維持する。
②-2	大学生国際交流リーダーの満足度（5段階）	点	4.5	4.3	↘	4.4	↗	4.7	未達成 リピーターを獲得できる事業内容となっているかをモニタリングするための指標として設定。既に高水準の満足度を得ているため、この水準を維持する4.7点を目標とした。
②-3	国際交流員の派遣満足度	点	4.63	4.81	↗	4.80	↘	4.70	達成 県民のニーズに応える事業内容となっているかをモニタリングするための指標として設定。過去3年間（R4～R6）の平均値から同程度の水準を維持する。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	267,799	△ 17,634	250,165	113,950	233,822	8.0
R6年度	0	207,494	9,869	217,363	73,710	199,589	8.0
R5年度	0	179,654	△ 1,476	178,178	63,623	166,829	8.5

事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	グローバル化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	国際交流課		

7 主な取組実績と成果

①国際関係パートナーシップの強化

- ・令和8年度に迎える友好交流協約締結10周年記念に向け、11月に知事が韓国江原道を訪問し、道知事との面会を実施。交流協力拡大共同宣言に署名し、今後の協力について再確認した。
- ・江原道の大学生と県内大学生の相互派遣交流を実施（8月に長野県から江原道に7人、翌年1月に江原道から長野県へ10人を派遣）。半導体分野での交流を通じて、双方の知見の共有と交流の拡大につながった。
- ・カナダ及び米国における県産品販路開拓、インバウンド誘致、海外とのネットワーク構築を目的に、11月に副知事が県内の物産・観光事業者等とともにトロント、ニューヨーク、ロサンゼルス及びホノルルの4都市を訪問。ロサンゼルス及びホノルルでは、現地の県人会員との意見交換会を開催し、今後の交流のあり方について認識共有ができた。
- ・JETプログラム経験者など県にゆかりのある外国人とのネットワーク「NagaNet」を通じて、参加者同士の交流や、NagaNetと地域との連携の可能性について考えるプログラム「NagaNet Connect」を2月に県内各地で開催。国内外の参加者間のネットワークが深まったとともに、グループワークやシンポジウムを通じて、県内企業や団体と今後の連携について可能性を共有することができた。
- ・海外における長野県の認知度向上及び理解促進を図り、交流の拡大につなげるため、長野県の魅力を視覚的かつ多言語で効果的に発信する冊子を作成した。

②次代の国際交流を担う人材の育成など県民の国際感覚の醸成

- ・県内の小中学校や団体等に国際交流員（英国、中国、韓国）を計118回派遣し、母国の文化・歴史等の紹介や語学講座等を行った。
- ・国際交流員の自主企画による「文化講座」や「語学教室」等を開催したほか、SNSを通じて海外の文化を発信した。
- ・国際交流に関心のある県内大学生44名が大学生国際交流リーダーとして活動した。県内のALT（外国語指導助手）との交流や、文化講座を実施し、10月に松本市で開催された「日韓交流お祭り」ではリーダーが主体となって運営するブースを設置するなど、当該事業を通して異文化理解が進んだ。

③海外県人会との交流

- ・海外県人会（ブラジル・メキシコ）から若手会員 4 名を長野県で受け入れ、日本語・文化・専門研修等を通じて、自身のルーツである長野県への愛着を醸成するとともに、県人会の次代を担う人材の育成を図った。
- ・ブラジル及びアルゼンチンの海外県人会の運営や各種事業に対し補助金を交付し、活動を支援した。また、海外県人会（ブラジル・メキシコ・アルゼンチン）を結ぶオンライン交流会を 1 月に初開催し、相互に活動や課題を共有することで、横断的なネットワーク強化につながった。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ②-1	大学生国際交流リーダーの参加人数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
前年度に参加した大学生の参加（リピーター）があったのに加えて、県内の各大学へ直接訪問し取組を周知したことで、参加者数が維持できた。							
指標 ②-2	大学生国際交流リーダーの満足度（５段階）	R6年度推移	↘	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
留学や就活などで日程が合わない生徒が多く、イベントに参加できないケースが増えたため満足度が下がり、目標を達成できなかった。							
指標 ②-3	国際交流員の派遣満足度	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	達成
前年度の派遣先（リピーター）からの申請が多かったことに加え、派遣先の要望に応じた講座を実施できたことが満足度につながり、目標を達成することができた。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・海外友好提携都市や大使館との交流については、周年事業や単発イベントにとどまることなく、県内の経済や産業など、幅広い分野へと発展させ、地域の活性化につなげていく必要がある。
- ・大学生国際交流リーダーをはじめとする県内の大学生や若年層については、県の国際交流事業への継続的な参加を促すため、県として交流機会の充実と体制の整備を図る必要がある。
- ・国際交流員の活動については、地域全体の国際化及び異文化理解の推進につなげるため、県内の学校や団体への認知度を高めるとともに、活用方法の理解促進を図る必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・県内の産学官関係者と連携し、海外友好提携都市や大使館との交流状況や成果を定期的に整理・共有することにより、交流の質の向上と地域の活性化につなげていく。
- ・大学生国際交流リーダーが、NagaNetに参加するJETプログラム参加者や海外県人会の研修生と交流する機会を設け、それぞれの活動や役割への理解を深めるとともに、主体的に国際交流に取り組む体制を構築する。
- ・県内の学校や団体に対し、国際交流員の活用方法や取組内容について、チラシ等を用いて視覚的に分かりやすく周知することで、派遣機会の拡大を図る。

事業番号	02 08 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	グローバル化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	国際交流課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	国際化啓発推進事業費		33,014 千円	42,902 千円	54,212 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	中国・中南米との青年交流事業	直接 委託	本県と中国河北省及び中南米日系人社会との交流を担う人材を育成するため、河北省内の大学及び在メキシコ長野県人会から研修員を受入れ 受入れ：5名（中国）、1名（メキシコ）		
2	国際関係パートナーシップ強化事業	直接 委託	・副知事によるカナダ及び米国におけるトップセールスを実施 ・知事による韓国江原特別自治道知事との面会・意見交換を実施 ・江原道内の大学生と県内の大学生が、半導体分野における相互派遣交流を実施 ・中国河北省内の大学生と県内の大学生が互いの伝統や文化への理解を深める相互派遣交流を実施 ・国の委託金を活用し、県にゆかりのある外国人とのネットワーク「NagaNet」を通じて、ネットワーク参加者と地域との連携の可能性について考えるプログラム「NagaNet Connect」を開催 ・大学生国際交流リーダーの養成講座・イベントを開催 県内大学生 中国派遣：1回、韓国受入・派遣：各1回		
3	通訳職員設置事業	直接	県の国際関連業務や外国籍県民対応のため、英語及び中国語による通訳や資料の翻訳を実施 通訳翻訳件数：176件（英語）、86件（中国語）		
4	国際交流員設置事業	直接	地域における草の根レベルの国際交流を推進するため、小中学校等の教育機関や地域の講座・イベント等に国際交流員を派遣するとともに自主企画イベントを開催 国際交流員派遣件数：118件		
5	ウクライナ避難民支援事業	補助金	避難民から支援金の支給申請がなかったため、支給実績無し 支給実績：0名		
6	海外向け長野県PRツール制作事業	委託	海外との交流を促進するため、観光、ものづくり、健康長寿等の長野県の強みや魅力を海外に向けてアピールする冊子を作成 作成言語数：6言語（英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語、ベトナム語、インドネシア語）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	河北省・北京市友好交流事業費		4,962 千円	4,222 千円	4,923 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	中国大学生インターンシップ活用事業	直接	長野県と河北省の青少年交流の一層の深化及び更なるネットワーク強化を図るため、河北省内の大学生1名をインターンシップ生として受入れ		
			研修期間：2か月		
2	長野県河北省友好提携40周年記念関連事業	直接	令和5年度に実施した友好提携40周年記念事業における中国訪問への答礼として、河北省からの訪問団を受入れ		
			河北省訪問団受入れ：1回（中国共産党河北省委員会常務委員ほか）		
3	河北省・北京市との冬季スポーツ交流協力推進事業	負担金	河北省から6名、北京市から5名の訪問団を志賀高原において受け入れ、指導力向上に向けた交流を実施		
			河北省・北京市スキー訪問団受入れ：1回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	海外県人会連携事業費		1,823 千円	9,881 千円	5,305 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	海外県人会運営費補助金	補助金	本県出身の移住者の移住先国の日系人社会の発展に協力し、本県との友好関係を促進するため、ブラジル及びアルゼンチンの海外県人会の運営や各種事業に対し、補助金を交付 総会各1回、ブラジル日本祭りブース出展：1回、県との連携事業（オンライン交流）：1回		
2	海外県人会次世代人材育成事業	委託 直接	在ブラジル長野県人会から若手会員3名を研修員として受け入れ、日本語・文化・専門分野の研修やオンライン交流会等を実施 受入れ：3名（ブラジル）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	自治体国際化協会職員派遣事業費		10,583 千円	8,528 千円	21,473 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	自治体国際化協会海外事務所派遣事業	直接	（一財）自治体国際化協会本部及び海外事務所に職員を派遣し、実務型の長期派遣研修を実施 派遣職員：ロンドン事務所1名、ニューヨーク事務所1名、クレア東京本部1名		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	一般外事事務費		31,388 千円	29,611 千円	29,470 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	一般外事事務	負担金 直接	県内自治体の国際化の推進及び教育現場での外国語教育の充実を図るため、（一財）自治体国際化協会の海外事務所整備に係る分担金の支出や外国青年招致事業を実施 分担金：28,000千円		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
6	一般旅券事務費		85,059 千円	104,445 千円	118,439 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	一般旅券事務	直接 委託	法定受託事務である一般旅券発給等に係る申請の受理、作成及び交付事務を適正に実施するとともに、電子申請の運用及びオンライン決済を推進 県内窓口数：14、申請受理：40,531件、交付：39,288件		